

血圧降下成分生かし開発

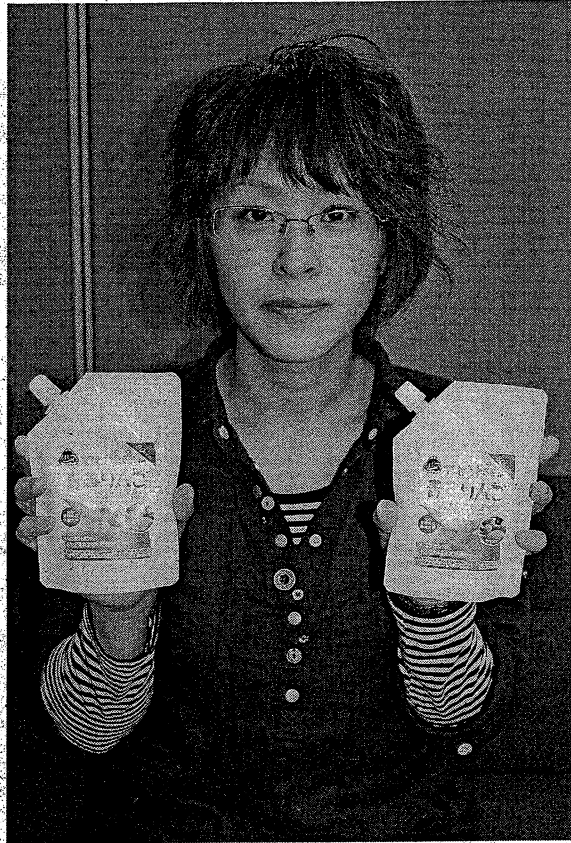
アピオス入り飲料発売

規格外品の活用にも期待

倉石地域振興公社(五)と県立保健大

五戸町の倉石地域振興公社と青森県立保健大が、
県南地方で主に栽培されているアピオス(ホドイモ)
の血圧を下げる成分を生かして共同で開発した、国
内で初めてのアピオス入り飲料「アピオ酢 in 青森
りんご」が完成し、発売された。規格外のアピオス
の活用にもつながると期待を集めている。

(鴨沢宏平)



倉石地域振興公社と青森県立保健大が
開発した「アピオ酢 in 青森りんご」

両者は2006年か
らアピオスの共同研究
を始め、実や花の特性
を生かした製品開発に
取り組んできた。
研究の結果、同大健
康科学部栄養学科の岩
井邦久教授らが、血圧
降下作用に關与するペ
クチド(タンパク質の
分解物)を発見した。

岩井教授は「健康に
寄与できる新しい飲料
ができた。地域産業に
貢献することができ、
喜ばしい」と話した。

それを調製するための
「アピオス酢酸・酵素
処理物製造方法、アピ
オス由来ペクチドおよ
びその製造方法」の特
許出願し、今年8月に
登録された。

同公社の北村勉総務
企画部長は「町内で生
産されるアピオスのう
ち約4割が規格外のも
のだったが、それらも
活用できるので、生産
者も助かるのでは」と
期待を寄せる。

同飲料は、同町の夢

の森ハイランドやイオ
ンスーパーセンター十
和田店、県内各地の道
の駅などで、150円
入り180円で販売し
ている。
問い合わせは同公社
電話0178(77)
31311へ。